

## ◇巡検の記録◇

### 茨 城 巡 検 （ 浅 井 先 生 ）

9 月 6 ～ 8 日

9月6日から8日まで、初めての巡検へ出かけました。テーマは「東関東と西関東の比較」—東関東の後進性—ということで、かなり詳しく事前研究を行ったつもりでしたが、それでも今考えてみると、もっと時間をかけて勉強すべきであったと反省しています。

東関東は首都圏から比較的近いにもかかわらず、昔から純農村地域で、西関東と比べると開発がかなり遅れた地域です。その後進性を示すものとして、地域開発と後進性を利用した観測・研究所が挙げられ、地域開発として筑波研究学園都市、鹿島臨海工業地帯、観測所として館野高層気象台、柿岡地磁気研究所、平磯電波研究所などを見学しました。見学先での観察、聞き取り、また車窓観察、車内での発表と、残暑の中で巡検のきびしさを痛感しました。そしてそのきびしさの中でさらに感じたことは、頭の中で考えているのと実際に見るのとでは大きく違うということでした。たとえどんなに事前研究を行っても、地理学では、実際に自分の足で歩き、自分の目で確かめなければ机上の空論にすぎません。たとえば、筑波研究学園都市の面積は事前研究で広大なことがわかっていたのですが、実際に見学してみると日本でまだこれだけの広い土地が確保できたのかと思う程廣大で、呆然としてしまいました。建設がいかに遅れているか、さらにそれに伴う問題点などがはっきりしてきました。他の見学先でも同様で、実際に見てみると、どのような所を考えるべきなのかははっきりしてくるのでした。

さてもう一つ、この巡検を通じて感じたことは、巡検に出かける際、しっかりとテーマを踏まえなければならないということです。当然すぎることなのですが、それがはっきりしていないと、巡検が単なる知識の集積に終わってしまい危険があるからです。さらに、巡検で得た知識をテーマにそって整理し、その中で地理学的な見方を身につけていかなければならないと感じました。

初めての巡検で何もかも中途半端に終わったようで残念に思っています。次の巡検では、もっと余裕をもってじっくり観察してきたいと思っています。

（ 1 年 金指みどり ）